

元自衛隊員が日本共産党へ

33歳県政に挑む

嘉陽県議から
バトンタッチ



力あわせ、未来ひらく。

オール沖縄の若い力
しまぶくさんを
県政へ押し上げて
ください。

知事 玉城デニー

これまでのご支援に
感謝します。

私が信頼し推せんする
しまぶくさんを
県政に送ってください。

県議 嘉陽宗儀

- | | | |
|---------------------|----------------------|-------------------------|
| 衆院議員
屋良朝博 | 衆院議員
赤嶺政賢 | 参院議員
伊波洋一 |
| 参院議員
高良鉄美 | 前参院議員
糸数慶子 | オール沖縄会議
照屋義実 |
| 市議
池原秀明 | 市議
前宮美津子 | 前市議
千葉綾子 |
| 弁護士
新垣 勉 | 司法書士
中石 求 | 中部協同病院院長
与儀洋和 |

しまぶく 恵祐

●事務所／沖縄市美里4-13-23(日本共産党中部地区委員会) 電話098-937-5503

兄が自衛隊訓練中に暴行死

私は、沖縄市高原で3人兄妹の次男として生まれました。

「家計を助けたい」と双子の兄・英吉と、18歳で自衛隊に入隊しました。

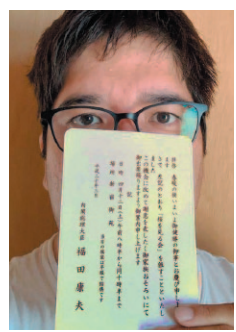
兄は20歳のとき、素手で敵を殺傷することを目的にした訓練中に亡くなりました。

死因は脳挫傷。多数のあざがありました。国へ死因の調査報告書の開示をもとめても、兄の名前まで「黒塗り」に。

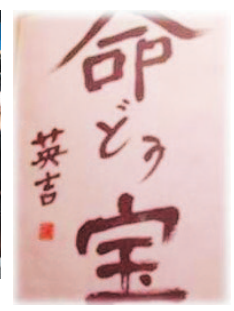
父あてに「桜を見る会」の招待状が届きました。悲しみ、悔しさの中にいる両親を招待するなんて、どんな神経をしているのか、何か後ろめたい事でもあるのかと怒りに震えました。

こんどは私が助ける側に

家族で途方にくれていたとき、手を差し伸べてくれたのが共産党の人たちでした。



●写真上は命の裁判で勝訴、左は「桜を見る会」招待状。



●兄の絶筆の書「命どう宝」



●写真左が兄・英吉、右が恵祐

私たちが家族は、「命の裁判」をおこし、たくさんの方の支援で、国が「暴行死事件」の責任を認め勝訴しました。共産党の人に誘われ、集会に行きました。人民党(共産党に合流)以来、県民のために体をはってたたかってきた先輩たちの話に感銘を受けて、「こんどは誰か困っている人がいたら、私が助ける側に回りたい」と、入党をしました。

いのちを大事にする沖縄を

一人の仲間の自衛隊員も守れないものが国民を守るのでしょうか。

森友・加計疑惑、「桜を見る会」——事実を隠へいする安倍自公政権。私たち家族にしたことと、同じことをやっているのではないか。

民意を無視して、辺野古工事を強行する政治は変えないといけない。

「命どう宝」——私は亡き兄の思いにこたえて、「二人一人のいのちを大事にする沖縄を」めざし、県政へ挑みます。

略歴 ●1986年沖縄市高原生まれ。高原小・美東中・北中城高校卒。●双子の兄と陸上自衛隊に入隊。●命の裁判(自衛官格闘訓練中暴行死事件)を支援する会・沖縄元事務局長、島マス記念塾21期会長、赤嶺政賢衆院議員秘書を歴任。●2014年県議補選(無所属)、2019年参院選(日本共産党比例代表)に立候補。

裏面もぜひお読みください